

# デジタルハリウッド大学

## － 学生・卒業生の起業を支援する専門職大学院 －

- デジタルハリウッド株式会社が2004年に設立したデジタルコンテンツ領域に特化した株式会社立大学。
- 修了要件がビジネスプラン・プロトタイプ制作、成果発表会へのVC参加等、起業家輩出の仕組みを導入。
- 株式会社デジハリとしてフリーランス卒業生のネットワーク化や卒業生会社への出資も実施。

### 1. はじめに

デジタルハリウッド大学は、株式会社デジタルハリウッドが2004年に設立した株式会社立大学である<sup>1</sup>。他の株式会社立大学がオンライン教育中心であるのに対し、デジタルハリウッド大学は通常の大学と同じ対面式のスクーリングを行っており、大学として多くの起業家を輩出している点にその特色がある。経済産業省「大学発ベンチャーの成長要因を分析するための調査」（平成20年度）では同大学卒業生による起業実績は34社に上っている<sup>2</sup>。

本稿では、教育を通じた起業家育成・支援という観点で、デジタルハリウッド大学の行っている施策について取りまとめる。

表1 デジタルハリウッド大学概要

大学名：デジタルハリウッド大学（運営：デジタルハリウッド株式会社）  
大学所在地：東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ アカデミア 3F/4F  
設立年月日：2004年11月30日（2005年4月開学）  
学長：杉山知之  
【大学（学部）】  
収容定員：1,000名、学生数：1,040名（2016年5月現在）  
教員数：109名（うち専任教員35名）（2016年5月現在）  
課程：デジタルコミュニケーション学部デジタルコンテンツ学科  
【大学院】  
入学定員：80名、学生数：193名（2016年5月現在）  
教員数：56名（うち専任教員18名）（2016年5月現在）  
課程：デジタルコンテンツ研究科デジタルコンテンツ専攻  
取得学位：デジタルコンテンツマネジメント修士（専門職）

（出所）デジタルハリウッド大学ウェブサイト<<http://www.dhw.ac.jp/profile/system/>>、デジタルハリウッド大学大学院ウェブサイト<<http://gs.dhw.ac.jp/profile/about/information/index.html>>

表2 デジタルハリウッド株式会社 会社概要

会社名：デジタルハリウッド株式会社  
本社所在地：東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ アカデミア 4F  
設立年月日：1994年10月3日  
資本金：6,204万円  
社員：92名  
出資者：カルチャー・コンビニエンス・クラブ株式会社、その他  
代表者：代表取締役社長兼CEO 吉村 毅  
事業内容：  
＜スクール事業＞  
CG、Webなどのクリエイター養成スクール運営、オンラインスクール運営  
＜大学・大学院事業＞  
デジタルハリウッド大学（四年制）およびデジタルハリウッド大学大学院（専門職大学院）運営  
＜法人ならびに自治体向けコンサルティングサービス事業＞

（出所）デジタルハリウッド株式会社 公式サイト <<http://www.dhw.co.jp/company/overview/>> 他

<sup>1</sup> 2004年に大学院、2005年に大学の順に開学。

<sup>2</sup> 新規事業を立ち上げた起業のみをカウントした数字。企業からの委託でコンテンツ開発を行う業務受託型起業はこの数字に含まれておらず、これを含めると数字はさらに増える。

## 2. 大学としての起業家輩出の取組

### (1) 起業をゴールとする専門職大学院

デジタルハリウッド大学大学院は「DCM（デジタルコンテンツマネジメント）修士」を授与する専門職学位課程である。大学院修了後のスタートアップ（起業）に向けて一貫性のある実践的カリキュラムとなっており、社会人学生が多い。企業派遣の学生は社会人学生全体からみれば少数であるが、派遣元企業は自社の新規事業開発を目的に戦略的に自社人材を同大学院に送り込んでいる。ビジネス系、クリエイティブ系、ICT系、それぞれを専門とする社会人学生でバランス良く構成されており、各領域に属する人材が相互に刺激しあい、融合することを大学院の特徴としている。

デジタルハリウッド大学大学院は専門職学位課程の修了要件として「ビジネスプラン」と「プロトタイプ（デモコンテンツ）」の制作を学生に課している。学生は2年間かけて新規事業アイデアをブラッシュアップするとともに、その中核となるプロトタイプを制作し、自らのビジネスが実効性を伴うものであることを対外的に提示できなければならない。

経営大学院（ビジネススクール）や民間研修機関の提供する起業家育成プログラムでも「ビジネスモデル」を課すことがあるが、「プロトタイプ」まで求めている例はほとんどない。そのためビジネスモデルが机上の空論で終わることも少なくない。デジタルコンテンツ領域に特化しているデジタルハリウッド大学大学院の強みでもあるが、同大学院ではビジネス系科目だけでなく、プロトタイプ制作に必要な専門科目（クリエイティブ、ICT）も用意されている。そのため学生がビジネスモデルと同時にプロトタイプを制作できるスキルを習得でき、その結果ビジネスモデルの実効性が高まり、大学院修了後のスタートアップへとスムーズにつなげることが可能となる。

表 3 起業家を生むデジタルハリウッド大学大学院カリキュラムの特徴

プロセス	科目
① アイデアを育てる	<b>Future Gate Camp</b> （新入生を対象とした合宿で、自身のビジネスプラン・研究テーマを、議論を通じて深める）
② 問いを深める	<b>ロジカルシンキング</b> （具体的なビジネス事例や社会的テーマをケースとして取り上げ、ディスカッションを繰り返す）
③ 出来るか？売れるか？儲かるか？	<b>ビジネスプランニング基礎</b> （自身のテーマが「ビジネス」として成立するかを10個の問いを通じて検証する）
④ 実行できるプランを作る	<b>ビジネスプランニング演習</b> （実務家教員による新規事業経験を活かした実践的なアドバイスを得る）
⑤ プロトタイプ（試作品）をつくる	<b>プロダクトプロトタイプ演習、サービスプロトタイプ演習</b>
⑥ 実証する	<b>ラボ</b> （修了課題の指導教員が主宰する1年間の研究実践科目）
⑦ 磨きあげる	<b>BCI相談会</b> （担当指導教員とは異なるビジネス・クリエイティブ・ICT分野の専門教員に修了課題に対する指導を仰ぐ）、 <b>中間・最終発表</b>
⑧ 世に問う	<b>修了課題発表、デジコレ</b> （ベンチャーキャピタルなども来賓として訪れるイベント成果発表会で優秀者が発表）

（出所）デジタルハリウッド大学大学院ウェブサイト <<http://gs.dhw.ac.jp/education/schedule/>>を基にMRI作成

### (2) 卒業生の起業や事業開拓を支援する仕組み

デジタルコンテンツ領域は新たなビジネスを立ち上げる際に必要な初期投資額が比較的少額で済む。そのため優れたビジネスモデルがあれば起業に直結しやすい。デジタルハリウッド大学では学部・大学院の卒業（修了）試験をビジネスプランのプレゼンテーションという形で行っている。学部4年生、大学院2年生の成果発表会（通称「デモデイ」）にはベンチャーキャピタルや事業会社が集まり、優れたビジネスプランを制作した学生が資金調達できる機会を創出している。

また、フリーランスとして活躍している大学・大学院の卒業生をネットワーク化し、デジタルハリウッド株式会社に大手企業から開発相談があった場合に卒業生に紹介したり、株式会社デジタルハリウッドの親会

社（カルチャ・コンビニエンス・クラブ）が同社のサイトで開発したサービスを試行することもある。

### (3) 大学以外の教育プログラム

デジタルハリウッド株式会社では、デジタルハリウッド大学とは別に社会人向けスクールも提供している。幾つかのスクール形態のうち、エンジニア養成スクールとして2015年1月より展開している「ジーズアカデミー」では、デジタルハリウッド大学の学部・大学院と外形的には類似した教育プログラムのように思えるが、学生（受講者）の目的意識には大きな違いがある。

ジーズアカデミーの受講者は大学・大学院よりも起業ビジョンが明確で、既にビジネスプランが確定している人である。デジタルコンテンツ領域では経営者自身がコンテンツを創出（プログラミング）できないと成功しないという雰囲気があり、「自分で手も動かせる」経営者を目指してプログラミングスキル習得を目的に受講する企業経営者も多い。

一方、時間をかけてビジネスプランを練り直したい、人脈を構築したいといった比較的ロングレンジで起業を目指す人はデジタルハリウッド大学大学院に入学する。大学院はアーリーステージを目指す人材にビジネス・クリエイティブ・ICTという幅広い知識・スキルを教育するプログラムとなっている。

## 3. 株式会社立大学としての挑戦と発見

### (1) 大学に係る規制について交渉を重ね、対応する大学

デジタルハリウッド株式会社は、2004年に大学院を設置し、2005年に大学（学部）を設置して、現在まで至っている。株式会社による大学設立は、小泉政権における規制改革の一貫として構造改革特区に限り認められたものであり、大学設置にあたっては、大学設置基準を始めとする様々な規制へ対応することに苦労したという。ただ、設置認可を受けた現在では、大学を巡る様々な規制について、不合理なものについては設置当局と交渉できるだけの経験を積み重ねて対応できるようになっている。例えば、大学設置基準に設けられた面積要件は専門分野ごとに定められているが、学際分野の教育を行うデジタルハリウッド大学の特徴を踏まえて交渉した結果、工学、社会学、芸術学の3分野の基準の平均値を必要な面積要件とすることになった。また、専任教員の配置、教員の研究室などについても、文部科学省や認証評価機関と対話する中で、これまで「常識」や「自明」とされていた事項について、「最先端の実務を教えるためには専任教員についても、現在もビジネスをしている方である必要がある」「研究室とは別に教員と学生が議論できるスペースがあれば良いのではないか」といった点を主張しながら、合理性がある考えられる規制は受け入れていった。

最近ではむしろ、多くの規制について「よく考えて設計されている」と評価することもあるという。例えば、当初は実践的な教育を行うという観点から必要性を感じていなかった一般教養の講座も、今では人間社会のソフトな部分を学ぶという観点から重要性を見出しているという。

### (2) 株式会社立大学としての柔軟な対応

株式会社立大学として設立されたにもかかわらず、その後、学校法人立に転換した大学も存在する中で、デジタルハリウッド大学は現在も株式会社立大学として存続し続けている。学校法人立となれば税制面での優遇措置や、私立学校振興助成法にもとづく私学助成が受けられるが「優遇措置・助成金が得られないと大学運営ができない」とは決して考えていない。学生のニーズが存在し、それに応えられる教育サービスを提供し続けられれば、株式会社立大学として経営し続けることが可能であるという。

デジタルハリウッド大学では開学から10年間を経て、教育プログラムも変化した部分がある。例えば開学当初に設置していた「起業ゼミ」という講座があるが現在は廃止されている。単位を取得するためには起業を必須とする講座であったが、「形式的に起業したか否かに特別な意義が感じられない」、「講座を設けなくても大学プログラム全体としてその機能を担っている」という判断が廃止の理由である。不要な講座を廃止する一方で、必要と判断したものは直ちに大学の仕組みとして取り込んでいる。初期投資が必要なハードウェア整備を含むビジネスアイデアが増えてきたことを踏まえ、いくつかの授業・イベントを経て、学内コンペを勝ち抜いた学生の企画に開発資金を賞金として助成する取組を最近開始した。

このように学生のニーズに応じて柔軟にプログラムを変更できる点が株式会社立大学の強みでもある。普通の大学であれば講座廃止となれば担当教員が反対する場面であるが、デジタルハリウッド大学では大学主導で学生のニーズに応える教育プログラムを提供することが可能となっている。

## 4. 今後の展望

「D ROCKETS」というプロジェクトを立ち上げ、デジタルハリウッド株式会社が投資する仕組みを2016年6月に発表した。現在の市況ではスタートアップ企業が資金調達をする環境には困らないものの、一方でファンドから資金調達するとスタートアップ企業の経営が早期の株式上場という方向に流れがちであることを危惧したことが背景にある。デジタルハリウッド株式会社としては事業の適切な成長を支援したいという思いがあり、シーズ段階でデジタルハリウッドが投資をすることで、伴走しながら中長期的な視点で最適な経営を後押しすることを目指している。

### 三菱総合研究所の視点

デジタルハリウッド大学は、デジタルハリウッド株式会社が提供するジーズアカデミーと併せて、起業を目指す社会人を対象として、実務家教員が学生のニーズに対応した教育を提供している。その教育内容は修了要件、修了審査などに工夫が凝らされているとともに、学内コンベによる初期投資費用の助成、D ROCKETS という学生への投資の仕組みなどの支援策もあり、大学全体の仕組みが学生起業を支えている。従来の大学像からは離れているが起業家育成の実績を積み重ねていることが、その教育理念の強みを感じさせる。

また、デジタルハリウッド大学は株式会社立大学として設置認可を得るとともに、その後もゼロベースでの教学システムの構築、評価、改善に取り組んでおり、それらには株式会社立ならではの顧客視点とリーダーシップが発揮されている。デジタルハリウッド大学からは、新しい大学経営の在り方を自ら探る姿が見えてくる。

### 謝辞

本稿に執筆に際し、デジタルハリウッド株式会社の廻健二郎 取締役、川村めぐみ 広報室主任、デジタルハリウッド大学の山本隆三 事務局長、池谷和浩 大学大学院事務局長に貴重なお話を聞かせて頂きました。この場を借りて感謝を申し上げます。